

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月27日

【評価実施概要】

事業所番号	0170400865		
法人名	有限会社エーアステス		
事業所名	グループホーム Myほ～む童里夢		
所在地	札幌市西区平和3条7丁目8番1号 (電話) 011-663-8808		
評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成19年7月6日	評価確定日	平成19年7月27日

【情報提供票より】(平成19年6月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 7月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人 人
職員数	10人	常勤	7人, 非常勤 2人, 常勤換算 10人

(2) 建物概要

建物構造	SRC 造り		
	3階建て	2～3階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000～65,000 円		
その他の経費(月額)	・光熱水費 20,000円 ・暖房費 8,000円(11月～3月)		
敷金	有()円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 400円
	夕食	450円	おやつ 150円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(6月10日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	1	要介護2	4		
要介護3	2	要介護4	2		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 80.1歳	最低	69歳	91歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	幌南病院・美園いとう内科・松永内科クリニック 南1条病院・北見脳外クリニック
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成15年7月の開設の頃はグループホームはまだ地域に認知されておらず、ホーム主催の餅つき大会や日帰り旅行等の行事を通じ住民との交流を図り理解を広げてきた。従って最初から地域に密着してきたともいえる。また、職員の多くは地域からの採用なので、地域の隅々まで良く知っていて、利用者が安心して暮らせるよう配慮している。閉じこもらない生活を目指し買物、外食等の支援はもちろんのこと、ふるさと訪問、コンサート、花見、小樽の街散策など盛りたくさんの外出支援を行っている。利用者の表情は明るく落ち着いている。新職員の資質を向上するために自己評価、管理者評価を課している。民家を改築したホームなので、部屋のタイプも様々であり自然環境にも恵まれている。利用者の要望に応じながらより質の高いケアを目指しているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の改善点「理念の明示」については職員間ですみやかに検討し改善している。「トイレの内以外に独立した洗面所を」のハード面については業者とも相談したが、構造上厳しいとの結論に達している。
重点項目	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、全ての職員が参加し日頃のケアの見直しを行った。管理者・職員は外部評価の意義を理解しており、さらなる質向上に向けた取組みを図っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営会議は今までに6回開催している。初回はホーム内を見学してもらい、利用者の状況や生活の様子を説明し、参加したご家族、市職員、町内会役員の意見・要望を出せる場面を設定している。外部評価についての意義や、前回の改善項目について説明している。議事録も整備されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ご家族の訪問時には、気軽に意見が言える雰囲気を作るよう努めている。訪問できないご家族には、電話連絡している。また、ホームの玄関には手作りの意見箱を設置している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、町内の清掃や除雪の協力を行っている。近くに幼稚園があり七夕、花火大会に参加している。ホーム主催の、餅つき大会や日帰り温泉旅行は町内にも呼びかけを行っている。また、ホームを開放して焼肉パーティを開催している。近所の方がボランティアで2か月に1回人形作りに来てくれる。地域との連携は開設以来、密である。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成15年の開設時から地域密着を意識したわかりやすい理念を掲げており、理念に沿ったケアを目指して実践してきている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には理念を伝えている。また、月1回のミーティングの際には必ず抜き打ち的に職員に当てて理念を言わせ浸透を図ると共に、日々のケアの中で振り返り理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、町内の清掃や除雪に協力し地域住民としての役割を担っている。また、幼稚園の七夕、花火大会、小学校の発表会等利用者と共に参加している。ホーム主催の餅つき大会や日帰り温泉旅行、畑の苗植え、焼肉パーティ等に町内の人をお誘いし交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は外部評価の意義を十分理解しており、前回の評価の改善に積極的に取り組んで結果を出している。今回の自己評価は全職員で取り組んでおり、サービスの質の向上に向けた努力をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>今までに6回の運営推進会議を開催し、ホームが計画している事業内容や外部評価等についての説明や報告を行っている。ホーム側はより良質なサービスを提供するために、運営推進会議での意見や要望の具体化を図るよう努めている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>西区管理者会議に出席し、区の職員と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族の来訪時や毎月発行するホーム便りに、写真を掲載して利用者の暮らしぶりや行事の様子を伝えている。また、金銭関係については領収書と会計の明細書を添えて送り報告している。利用者の健康状態に急変があった場合は、電話連絡をしている。ただ、職員の異動についての情報は伝えていない。</p>		<p>本人やご家族にとって職員の交代は気になるところでもあり、日々の生活への影響もあり報告することで安心にも繋がる。お便りを発行する際に、情報を掲載するなどして報告することが望ましい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族の来訪時には意見を言いやすい雰囲気作りに努めている。また、ホームの玄関には手作りの苦情箱が設置されている。運営推進会議では利用者の状況やホームの生活の様子を説明し、ご家族や市町村職員、町内会役員の意見や要望を出すことができる場面づくりをしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職は、避けられない現状もあるが最小限に抑えるよう努めている。新職員は利用者と一緒に過ごしその人らしさを観察する。一か月後には管理者が作成した基本的態度や家事、身体介護、対人援助などの技術の項目を自己評価し、管理者評価を交えて再確認し、管理者の指導を受けながら利用者への接し方を学び管理者は職員への配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は外部研修の情報を管理者に伝え、受講しやすい雰囲気を作っているため参加しやすいが、年間計画は立案されていない。管理者が、内部研修の講師になって救急救命法や接遇、看護、介護技術研修を行っている。研修報告や資料がファイルされて全職員が閲覧できるまでには至っていない。</p>		<p>限られた職員体制の中で、研修の機会を確保していくためには年間計画の作成が望まれる。また、研修報告や資料がファイルされ全職員がいつでも閲覧できるよう配慮することが望ましい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>西区管理者会議の、西区内ホーム訪問交流の機会を利用したり、同系列の4ホームと交流したり、質向上にむけた連携作りに努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>先にご本人、ご家族に見学していただき、ホームの雰囲気や様子を理解してから、ご家族と十分話し合いをしながら入居していただくよう工夫している。今までの生活を崩さないよう、自宅や病院へ出向いてご本人の状況を確認することもある。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は常に、「自分だったら」「親だったら」と常に問いかけながら日々の生活の中で、支えあう関係作りを築いていけるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご家族から情報を得たり、日々の表情を観察したり会話を交わしながらご本人の思いや意向の把握に努めている。センター方式を利用している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の担当を決め、気がついたときにこまめに記録している。来訪時や電話等で、ご家族の要望や意見等を聞きだし介護計画に反映している。月1回のケアカンファレンスのときに、全職員で検討して介護計画を作成し、介護支援専門員がチェックしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>1か月ごとに見直しを行っており、ケアプランにも記録されている。変化があった場合は、その都度見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>以前はご夫婦で入居していたが、一人は自宅へ戻り、一人はホームに残って暮らしている事例もある。時々退居した方が希望してホームに宿泊しているが、職員はご夫婦の生活を見守り支援している。また、ふるさと訪問の実現をしたり、通院介助をしたりしてその時々々の要望に応じた柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>複数の医療機関との連携ができており、適切な医療が受けられる体制になっている。週1回看護師が配置されており、月1回利用者の担当医が往診や検診を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や週末期に向けた医療連携指針を作成し、入居時に具体的に家族に説明し同意を得ているが、家族の気持ちに配慮しその時々により確認していくようにしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は一人ひとりのプライドを傷つけないような言葉かけを行っている。職員は個人情報保護法について認識しており、情報が漏れないように努めているが、玄関に一覧表になった面会簿が置かれている。</p>		<p>家族であっても、面会に来た方の名前が分からないような工夫が望まれる。1ユニットなので、面会簿が必要なのかどうかを含めて検討してみてはどうか。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>訪問時、利用者が職員のように振舞っていたが、職員は笑顔でその方のやりたいことを大切にして支援していた。他の利用者に対しても、日々その人らしい暮らしができるように見守っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜を刻む、配膳、後片付けなど利用者と職員が一緒になって行っている。職員も利用者と同じものを食べ、さりげなく食事の介助をしている。外食の機会を設け、利用者、職員の間関係を密にした支援をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間帯等ご本人の意向にそった入浴支援をしている。入浴拒否の方にも動機付けをし、入浴チェック表を利用しながら週2回は入浴していただく工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	新聞取り、洗濯物たたみ、食事の支度、後片付け、献立メニューの記載、雑巾縫いなど職員はホーム内で、利用者が個々に役割を見出すことができる場面を作り支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常の散歩、通院介助、買物、ドライブ、カラオケ等はもちろんのこと普段いけない場所への外出支援（コンサート、ふるさと訪問、花見、日帰り旅行等）も計画を立てて積極的に行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーを置くなど鍵を掛けないケアを実践している。外へ出て行きそうな利用者を日頃から把握し、係わり合いを多く持って未然に防ぐ配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昨年の9月に、消防署の職員3名に来ていただいた。そして、消火訓練、救急救命法等の説明を受け通報訓練を行った。利用者の参加や夜間の想定、地域住民への協力体制までには至っていない。防火カーテンを使用している。		災害はいつ発生するか分からないので、町内会や運営推進会議等で呼びかけて地域の協力を得る体制を作ることが望まれる。日頃から隣近所、消防署、警察との連携を図って欲しい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による栄養管理が適切にされており、糖尿病のためインシュリンの治療を受けていた利用者4名が1名に減少されている。水分量は必要に応じてチェック表に記録し、職員の共有化が図られている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は明るく穏やかな採光であり、手作りカレンダーや家庭的な装飾品、調度品が設えてあり、居心地がよく安心できる場所となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	拝見した居室には、お琴や写真等馴染みのものが持ち込まれていた。その人らしい居室となっていて、居心地良く暮らせる配慮がされている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。